

地質調査所研究資料集

この資料集は、地質調査所資料室（電話（0298）54-3605）で閲覧できます。

地質調査所研究資料集 No. 173

小笠原正継（1992）

イメージ・アナライザーを用いた岩石のモード分析の検討. 20 p., 6 fig., 2 tab.

内容紹介

汎用イメージ・アナライザーを用いた岩石のモード分析の検討を行った。従来、岩石のモード分析にはポイント・カウント法が用いられていたが、その測定には長時間の作業が必要であった。この方法では1試料あたり約2000点のカウントが一般的である。しかしイメージ・アナライザーを用いた測定では、数分間という短時間の内に10万から25万点のピクセルによる測定が可能であり、ポイント・カウンティング法より、はるかに効率的な測定が行われる。本報告では、多機能汎用イメージ・アナライザーを用いてモード分析の手法について検討を加え、次のような結果を得た。

- 1) イメージ・アナライザーのカラー抽出機能を用いて、染色した岩石片の効率的なモード分析が行われることが示された。
- 2) 岩石を構成する鉱物の粒子の大きさを考慮した適当な解析領域を設定することにより精度の良い分析が可能である。テストチャートでの解析結果から、誤差としては、絶対値で約2%以内とすることが可能である。
- 3) 画像出力モニターを2台用意することで、原画像と抽出画像を比較しながら作業することが可能となり、各鉱物毎独立に抽出していたために生じる抽出画像間のギャップが少なくなる。

地質調査所研究資料集 No. 174

呉澄宇（1992）

XRF ANALYTICAL REPORT 1/92 Determination of U and Th Using Sc/Mo Tube by the Compton Scattering Calibration. 17 p., 10 fig., 10 tab.

内容紹介

蛍光 X 線による U 及び Th の定量法について報告する。Sc/Mo デュアルアノード管球を用い MoK α のコンプトン散乱による補正を行い、玄武岩、花こう岩、アルカリ岩の粉末加圧試料について良い結果が得られた。Th に対しては Pb の重なり補正を、U に対しては Rb と Sr の重なり補正をした結果、2 ppm 以上の濃度について迅速に正確な定量をすることが可能となった。

地質調査所研究資料集 No. 175

平野英雄（1992）

鉱物資源探査・評価支援システムのパイロット研究. 62 p., 21 fig., 13 tab.

内容紹介

本報告書は、工業技術院特別研究促進費調査報告書として取りまとめたものである。今後ますます深部及び遠隔地に移行していく鉱物資源探査の効率的実施を支援するため、特に環太平洋地域の地質条件に適したコンピュータ支援システムのあるべき姿を以下の5項目にわけて検討した（カッコ内は執筆者名）

1. 各国の鉱物資源探査・評価に関する類似システムの現状（古宇田亮一）7 p., 9 fig., 3 tab.

- II. 環太平洋地域の鉱物資源データベースの予察的考察(佐藤壮郎) 7 p., 6 fig., 2 tab.
- III. 日本列島における重金属元素産出量の解析(須藤定久) 2 p., 1 fig.
- IV. 円錐図法による資源分布のプロットに関する基礎的研究(吉井守正) 16 p., 3 fig., 6 tab.
- V. 今後開発すべきシステムの概念設計の検討(古宇田亮一) 8 p., 2 fig., 2 tab.

地質調査所研究資料集 No. 176

呉澄宇・村尾 智(1992)

我国发现的几种分散元素矿物

Several occurrence of dispersed element minerals from China. 9 p., 6 tab., 8 pl.

内容紹介

世界で2例しかないジャリンドイト ($\text{In}(\text{OH})_3$) の記載の1つは標記のように中国語で書かれており、インジウム研究者にとって不便であった。そこで呉が中国語から英文に翻訳した。本論文にはジャリンドイトの他にも希産鉱物であるガナイト ($\text{B}_{4-x}\text{Te}_{1+x}\text{S}_2$) の記載もあり中国におけるインジウムやビスマス鉱床の情報を得ることができる。

出典: 地球化学(1972) 第3期, p. 289-297

地質調査所研究資料集 No. 177

村尾 智(1992)

ZnS 単結晶中の In と Cu の拡散. 7 p.

内容紹介

人工 ZnS における Cu と In の拡散について調べられた研究(独文)を和訳した。それによると In は ZnS の Zn サイトの空格子を使って拡散する。本論文ではさらに In をドーピングした ZnS 結晶中では Cu-In コンプレックスの形成によって Cu の拡散が妨げられることも示されている。以上の成果は天然における Cu-In rich sphalerite 及び sphalerite 中の roquesite の生成機構解明の一助になると判断し和訳した。

地質調査所研究資料集 No. 178

村尾 智(1992)

Electron microprobe check of indium-bearing ore from the Mount Pleasant deposit, Canada. 10 p., 9 fig., 2 tab., 25 pl. (所員のみ利用可)

地質調査所研究資料集 No. 179

武居由之(1992)

物理探査調査研究一覧の作成について. 13 p. (所員のみ利用可)

地質調査所研究資料集 No. 180

服部 仁(1992)

長崎県西彼杵半島におけるダムサイト及び水路トンネルの地質(5千分の1地質図付). 4 p., 12 fig., 3 tab.

内容紹介

長崎県と長崎市では、西彼杵半島において広い地域の治山海水と周辺の産業開発を促進し、あわせて懸案の上水道用水確保のため、多目的ダムとして雪浦ダム、神浦ダム及び式見ダムを建設し、総延長26,864mの導水路工事を行った(第1図)

導水路のうち水路トンネルの地質については、工事中の掘削現場において2千分の1地質図(第2-2~2-10図)を作成し、これを別途5千分の1地質図及び地質断面図(第3図)にまと

めている。

トンネル内における地質調査は、5万分の1地質図幅「神浦」及び「長崎（及び三重）」作成の期間に行われたものである。地質の概要は研究報告において略述されるとともに、それぞれの地質図幅上において、水路レベル（標高85.0 m～57.2 m）の岩相境界が破線によって示されている。

本資料は、水路トンネル及びダムサイトの地質調査データをまとめたものである。

地質調査所研究資料集 No. 181

金沢康夫・平野英雄（1992）

工業用原料鉱物開発に関するワークショップ講演要旨集（1）. 316 p., 50 fig., 20 tab.

内容紹介

本資料集は、ESCAP 天然資源部と地質調査所の共催による、1992年8月27日～9月2日、名古屋と兵庫で開催された標記ワークショップの講演要旨集である。この資料集は本ワークショップに提出された基調講演7件と各国代表のカントリーレポート13件及び鉱山見学旅行のガイドよりなる。内容は、原料鉱物（粘土鉱物）の成因、鉱物資源の地質・分布、東アジア地域における資源ポテンシャル、各国の資源探査・開発の現況、原料鉱物の輸出入における発展、鉱物の精製、工業用利用など、資源（上流）から利用（下流）までの広範囲にわたっている。

総合討論においては、今後の需要に占める原料鉱物の重要性、探査・開発技術の進歩、エンドユーザーを念頭に入れた原料の物理・化学的性質の向上などが結論された。

地質調査所研究資料集 No. 182

村尾 智（1992）

Electron microprobe examination of ore from the Tosham prospect, India. 13 p., 3 fig., 5 tab., 7 pl. (所員のみ利用可)

地質調査所研究資料集 No. 2001

岩生周一・肥田 昇（1946）

伊豆三倉山加里石英粗面岩調査報告. 38 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1946年5月4日～25日。位置は下田市の西方約4 km の静岡県加茂郡朝日村及び竹麻村。石英粗面岩は第三紀白浜層とみられる白色凝灰岩及び集塊岩質凝灰岩上半部の標高8090 m に分布。平均品位6.7 K₂O。鉱量約1,330万トン（90万トン K₂O）。27試料分の K₂O と Na₂O の化学分析値がある。下田市万蔵山産の石英粗面岩と比較したメモや書簡なども収録。（謄写印刷）

地質調査所研究資料集 No. 2002

下田加里鉱業株式会社（1947）

焼成加里石英粗面岩粉末肥料肥効に関する参考書、第1輯. 31 p., 2 photos.

内容紹介

カリ石英粗面岩から生成した肥料について、日本軽金属株式会社による馬鈴薯・甘薯・そばに対する、及び日本化学工業株式会社による水稲に対する肥料効果のデータが示されている。広川稔（日本軽金属）による調査報告及び鈴木貞雄（加里白土研究所）による煤焼試験結果も収録。（謄写印刷）

地質調査所研究資料集 No. 2003

肥田 昇(1947)

長野県宮川鉾山資料. 7 p., 3 fig.

内容紹介

鉾床は長野県諏訪郡宮川村, 中央本線茅野駅の南方直距 2.5 km 及び 3.5 km の 2 箇所に分布。
位置図・鉾床地質図及びメモを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2004

安斎俊男(1948)

福島県白岩村及び宮城村の白珪石・長石及びカオリン鉾床図面. 2 fig.

内容紹介

調査は 1947 年 6 月 27 日～7 月 10 日。位置は福島県安達郡白岩村及び同田村郡宮城村赤沼。
白岩村の鉾床は東北本線本宮駅の南東約 10 km, 赤沼鉾床は同郡山駅の南東 3.5 km。本文は
地調月報 vol. 1, no. 1, p. 28-31 に掲載。白岩鉾床の鉾床地質図及び赤沼鉾床の位置図(月報
に不掲載)を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2005

岩生周一(1948)

秋田県松岡鉾山及び大蔵鉾山資料. 32 p., 13 fig.

内容紹介

位置は秋田県雄勝郡山田村松岡, 奥羽本線湯沢駅の北西約 6 km。大倉鉾山は同駅東方約 6
km。いずれも粘土鉾床。松岡鉾山については地調速報 no. 50 に掲載。松岡鉾山の坑内図類
及び両鉾山産の粘土鉾物試料の記載などを収録。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2006

久富豊実(1946)

秋田県松岡鉾山(陶土)調査概要. 11 p.

内容紹介

鉾床は石英粗面岩が熱水変質して陶土化したもの。幅は 35-60 m で上下方向に延び, 純白の
陶土は幅約 10 m。陶土はカオリン原土状で水ひ物正味 32.3%。耐火度 SK15 番。鉾量約十
万トン。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2007

久富豊実(1946)

大倉鉾山(正長石)調査概要. 51 p. 6 fig.

内容紹介

調査は 1946 年 11 月 5 日。位置は秋田県雄勝郡駒形村大字大倉字原山, 奥羽本線十字駅の東
南東直距約 7 km。正長石の鉾床は石英粗面岩中に胚胎。正長石は風化が著しく白色軟質。化
学分析値あり。鉾量 25 万トン。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2008

河野義禮(1943)

倉谷鉾山資料. 7 p., 3 fig.

内容紹介

調査は 1943 年。位置は福島県南会津郡朝日村大字黒谷字倉谷。付近は古生層の珪岩・珪質粘

板岩などから成り、花崗岩に貫入されている。鉍床は脈状で露頭部で延長 70-80 m, 幅最大 6 m. 鉍石は磁鉄鉍に黄銅鉍を伴う。品位 1-20% Cu, 及び 50-65% Fe. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2009

木脇祐之 (1947)

島根県尾原産絹雲母高麗土陶石及び砥石材調査概要 (付 島根県川下陶石化学分析値). 44 p., 7 fig.

内容紹介

位置は島根県邑智郡川下村尾原瀬尻谷, 三江線因原駅の北西方約 3 km. 鉍床の規模は延長 35-50 m, 幅 3-4 m. 鉍石は優良な絹雲母まじりカオリン土. 砥石材は鉍床の 500-600 m 西方に産出. (手書き).

地質調査所研究資料集 No. 2010

岩生周一 (1948)

山口県名振鉍山蛭石鉍床. 94 p., 15fig.

内容紹介

調査は 1948 年. 位置は山口県阿武郡宇田郷村字名振, 山陰本線宇田郷駅の北東約 4 km. 鉍床はひん岩を交代し塊状. 規模は東西約 300 m, 南北 40-70 m. 鉍石は葉蛭石・カオリン・紅柱石・石英から成る. 白色部の耐火度は SK 30 以上. 鉍量は稼行中の部分で 1 万トン前後. 鉍石の記載及び化学分析値がある. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2011

岩生周一 (1948)

静岡県伊豆下田絹雲母大瀬蛭石. 19 p., 6 fig.

内容紹介

位置図・化学分析値・記載メモ・関係者の書簡などを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2012

肥田 昇 (1948)

埼玉県越生鉍山西部ニッケル図面. 2 fig.

内容紹介

位置は埼玉県越生町, 八高線越生駅の北東 1 km 及び南南西 2.5 km. 鉍床は秩父古生層中の蛇紋岩の中に胚胎. 位置図と 50 分の 1 鉍区図及び手書きのメモ書きを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2013

運輸省下関地方施設部試験室 (19XX)

土木建築用材としての“フォースライト”について. 16 p., 2 fig., 1tab.

内容紹介

フォースライトの微細粒をセメントに混ぜて行った耐火試験など各種試験結果を図表で示してある.

地質調査所研究資料集 No. 2014

肥田 昇 (1948)

群馬県北甘楽郡青倉橄欖岩. 8 p., 1 fig.

内容紹介

位置は上信電鉄下仁田駅の南南西約 2.5 km 付近。岩石の記載がメモ書きされている。

地質調査所研究資料集 No. 2015

村岡 誠 (1948)

福岡県岡山村及び大牟田市付近の粘土概査報告. 32 p., 10 fig., 9 tab.

内容紹介

調査は 1948 年 7 月 25 日～8 月 9 日。岡山地区の鉱床は福岡県八女郡岡山村・中広川村・長峰村及び福島町、鹿児島本線西牟田駅の東方、又は西日本鉄道大牟田線福島付近。大牟田地区の鉱床は福岡県大牟田市、同三池郡三池町・二川村・玉川村・駛馬(はやめ)村の一帯で、鹿児島本線銀水駅又は大牟田駅の東方。洪積世のギブス石粘土層で、厚さ 1-2 m。化学分析値・耐火度のデータがある。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2016

上野三義 (1948)

山形県肘折カオリン鉱床. 6fig.

内容紹介

調査は 1948 年 7 月 21 日～23 日。鉱床は山形県最上郡大蔵村大字南山字金山、陸羽西線升形駅の南南西直距 16 km の肘折温泉から 2 km。本文は地調月報 vol. 1, no. 2, p. 26-30 に掲載。化学分析値と鉱床地質図・柱状図などを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2017

岩生周一 (1948)

日立鉱山絹雲母調査報告 (1). 41 p., 6 fig.

内容紹介

調査は 1948 年 8 月 7 日～10 日。絹雲母鉱床は含銅硫化鉄鉱床を囲んで産出。富鉱体は 9 箇所あり、規模はそれぞれ延長 10-50 m, 幅 3-10 m。鉱石は石英・絹雲母から成り紅柱石を伴う。品位平均 17% Al_2O_3 。本文は「鉱物の新活用第 111 委員会」の報告書及び予報として書かれている。(謄写印刷及び手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2018

岩生周一 (1948)

日立鉱山絹雲母調査報告 (2). 54 p., 22 fig.

内容紹介

絹雲母鉱床の記載メモ・絹雲母の化学分析値・顕微鏡観察・光学測定などのデータ及び日本地質学会東京支部による「日立鉱山見学旅行案内書」を収録。(謄写印刷・手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2019

岩生周一 (1948)

長崎県対州の白土及び陶石. 54 p., 7 fig.

内容紹介

調査は 1947 年 9 月～10 月。本文は地調速報 No. 65 に掲載。鉱物の記載・化学分析値・耐火度などのデータ及び関係の書簡などを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2020

村岡 誠 (1948)

岩手粘土関係図面. 8 fig.

内容紹介

調査は1947年10月10日～11月6日。本文は地調速報 No. 77 に掲載。地質図・坑内図・柱状図など青焼き図面のコピーを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2021

安斎俊男 (1950)

滋賀県下の長石鉱床概査報告. 4 fig.

内容紹介

調査は1948年11月19日～24日。鉱床は東海道線石山駅南方の瀬田川沿い4-8 kmの間、及び草津線三雲駅の南ないし南西1-2.5 kmのそれぞれ数箇所分布。本文は地調月報 vol. 1, no. 1, p. 19-22 に掲載。八郎谷鉱山(神山長石)の位置図及び同鉱山・平津長石鉱山・南郷長石鉱山の各鉱床地質図を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2022

岩生周一 (1950)

新潟県三光石調査. 16 p., 11 fig., 2 tab.

内容紹介

調査は1948年11月24日から1週間。鉱床は新潟県北蒲原郡川東村三光、羽越本線新発田駅の東方約8 km。本文は地調月報 vol. 1, no. 2, p. 30-33 に掲載。鉱床周辺の地質図などを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2023

岩生周一 (1949)

新潟県小滝付近の灰曹長石岩調査報告. 61 p., 9 fig.

内容紹介

調査は1948年11月。位置は新潟県西頸城郡小滝村字高橋、字夏中など4箇所分布。本文は地調速報 no. 93 に掲載。鉱床地質図・化学分析値・記載のメモを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2024

岩生周一 (1950)

山口県大嶺珪石調査報告. 39 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1950年2月17日～24日。位置は山口県美祢郡大嶺村、美祢線南大嶺駅直近。鉱床は秋吉層相当のチャートの珪化作用によって生じた。規模は南方鉱床で南北約230 m, 東西100-150 m, 深さ約30-40 m。北方鉱床では南北約200 m, 東西約6-10 m。鉱石は白色ないし淡灰色で、品位98.10% SiO₂。推定・予想鉱量41万トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2025

高畠 彰 (1950)

岩手県和賀仙人鉱山調査報告. 43 p., 5 fig.

内容紹介

位置は岩手県和賀郡岩崎村及び同湯田村、北上線と和賀仙人駅の西北西直距1.5 km。鉱床は古生層中の石灰岩とそれを貫く花崗閃緑岩との境界に発達するスカルン帯に産出。規模は走向及び傾斜方向の延長は約20-30 mで、幅は10 m以下。鉱石は雲母鉄鉱を主とし黄鉄鉱を伴う。

品位平均40% Fe, 鉍量3万トン.

地質調査所研究資料集 No. 2026

伊藤昌介(1948)

北海道北見国伊那牛銅・鉛・亜鉛鉍床調査報告. 16 p., 6 fig.

内容紹介

調査は1947年6月. 位置は北海道紋別郡丸瀬布村金山, 石北本線丸瀬布駅の北東約3 km. 鉍床は中生代の粘板岩を貫くひん岩岩脈内に発達. 規模は延長約360 m, 深さ200 m, 幅平均0.5 m. 鉍石は黄鉄鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍・黄銅鉍を主とし, 四面銅鉍を伴う. 品位約1% Cu, 1.2% Pb. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2027

佐藤 恭(1950)

大分県三菱尾平鉍山付近の地質鉍床調査報告. 23 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1947年9月. 位置は大分県大野郡長谷川村, 豊肥線緒方駅から32 km. 鉍床は古生層に加入した花崗斑岩に沿う鉍脈で, 銅砒脈及び錫本ひがある. 規模は延長約1,800 m, 深さ約300 m, 幅平均1 m. 鉍石は銅砒脈は主として硫砒鉄鉍・黄銅鉍・閃亜鉛鉍・硫錫鉍・方鉛鉍・輝蒼鉛鉍・黄鉄鉍から, 錫本ひでは錫石から成る. 銅砒鉍の確定鉍量6万トン, 品位1.8% Cu, 8.1% As. 同推定18万トン, 8.7% As, 1.6% Cu. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2028

伊藤昌介(1950)

新潟県葡萄鉍山鉛亜鉛鉍床調査報告—主として本坑鉍床の地質構造と鉍床との関係について. 27 p., 17 fig.

内容紹介

調査は1949年2月と6月. 位置は新潟県岩船郡塩野町大字葡萄, 羽越本線越後寒川駅の南南東約10 km. 浅熱水性割れ目充填鉍脈. 鉍石は主として閃亜鉛鉍・方鉛鉍. 品位2.0%-2.5% Pb, 4.5-5.5% Zn. 可採確定鉍量約1万トン.

地質調査所研究資料集 No. 2029

坪谷幸六(1950)

高知県森村能地滑石鉍床概査報告. 7 p., 2 fig.

内容紹介

調査は1948年4月11日~12日. 位置は高知県土佐郡森村, 土讃線大杉駅から西方に吉野川を約20 km さかのぼる. 鉍床は結晶片岩の層理に平行な脈として発達. 規模は延長150 m, 幅0.6-0.8 m, 最大3 m. 鉍石の化学組成は SiO₂ 59.24%, Al₂O₃ 0.38, Fe₂O₃ 5.32, MgO 29.62, CaO 0.46, K₂O 0.00, Na₂O 0.05, Ig. loss 4.95, Total 100.02. 予想鉍量2-3万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2030

岩生周一(1950)

岐阜県鹿倉螢石鉍山概査報文. 6 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1950年5月30日. 位置は岐阜県郡上郡和良村大字鹿倉, 高山線飛騨金山駅の北西直距

15 km. 花崗斑岩の縁辺部に胚胎された粘土脈として産出。規模は延長 60 m 以上, 幅 1-4 m 平均 1.5 m. 鉱石は螢石。予想鉱量約 7 千トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2031

岩生周一 (1950)

岐阜県平岩螢石鉱山概査報文. 6 p., 4 fig.

内容紹介

調査は 1950 年 5 月 31 日。位置は岐阜県武儀郡上之保村平岩, 高山線飛騨金山駅西方直距約 6 km. 秩父古生層の黒色粘板岩とこれを貫く花崗斑岩岩脈との境界に沿って胚胎される螢石石英脈に産出。規模は 40 m 以上, 幅 1.4-1.6 m. 鉱石は螢石。品位 60-80% CaF₂. 鉱量 1,350 トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2032

佐藤 恭 (1949)

宝達山金鉱調査報告. 8 p.

内容紹介

調査は 1949 年 7 月 15 日から 2 週間。位置は石川県羽咋郡北荘村野田, 七尾線宝達駅の南東 6 km. 鉱床は花崗岩の節理面に沿う石英脈に産出。規模は延長最大 30 m, 幅 2-10 cm. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2033

菊池 徹 (19XX)

徳島県高越銅鉱山資料. 4 fig.

内容紹介

鉱区図・坑内図 (平面図・裁面図) を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2034

菊池 徹 (19XX)

足尾銅山資料. 8 p., 3 fig.

内容紹介

足尾銅山の概要を記した小冊子 (謄写印刷) と地質図・精錬所系統図などを収録。

地質調査所研究資料集 No. 2035

菊池 徹 (19XX)

徳島県久宗銅鉱山資料. 1 fig.

内容紹介

地質鉱床図を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2036

菊池 徹 (1947)

長野県諏訪鉄山の含水磷酸鉄鉱床調査報告. 13 p., 3 fig., 3 tab.

内容紹介

鉱床は長野県諏訪郡北山村にある。本文は地調速報 no. 60 に掲載。鉱床分布図・化学分析表・東京地学協会編「鉄明礬石から硫酸カリ, 赤鉄鉱及び紅柄を製造する方法」11 p. を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2037

菊池 徹(1948)

徳島県次郎銅山調査概報. 44 p., 2 fig., 6 tab.

内容紹介

調査は1948年2月~10月. 位置は徳島県名西郡神領村, 高德線徳島駅の西南西直距約22 km, 高鉾山の西方約4 km. 輝緑岩中に層状に胚胎. レンズ状で長径150 m以上, 短径約60 m, 厚さ約0.8 m. 鉱石は含銅硫化鉄鉱. 品位平均5% Cu. 予想鉱量24万トン. 小田川三生(次郎銅山株式会社)による「次郎鉱山報告書」も収録.

地質調査所研究資料集 No. 2038

菊池 徹(1948)

徳島県次郎銅山調査報告. 37 p., 8 fig.

内容紹介

本文は地調月報 vol. 1, no. 4, p. 243-246 に掲載. 図面類・化学分析値・品位・鉱量などのデータを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2039

上野三義(19XX)

岡山県奥津カオリン資料. 11 p., 14 fig.

内容紹介

本文は地調速報 no. 66 に掲載. 鉱床位置図・坑内地質図・化学分析値などを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2040

上野三義(1947)

栃木県河内郡関白鉱山カオリン鉱床資料. 6 p.,

内容紹介

調査は1947年2月. 位置は栃木県河内郡羽黒村宮山田, 東北本線宇都宮駅の北方約20 km. 石英斑岩中の石英金鉱脈に平行したカオリン脈とカオリン化した石英斑岩から成る. 脈の延長120 m, 幅1.5 m. カオリン化石英斑岩は東西350 m, 南北350 m, 比高60 m. 鉱量はカオリン脈3万トン, カオリン化石英斑岩470万トン. 本文は地調速報 no. 13 に掲載. 各種図面類を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2041

上野三義(1949)

岡山県神目カオリン鉱床資料. 19 p., 10 fig.

内容紹介

本文は地調速報 no. 84 に掲載. 地質図や記載メモ類を収録.

地質調査所研究資料集 No. 2042

上野三義(1948)

愛媛県中島陶石鉱床調査報告. 17 p., 7 fig.

内容紹介

調査は1948年3月12日~16日. 位置は愛媛県温泉郡東中島村字小浜, 高浜港の北西約14 kmの北緯34度0分, 東経132度28分. 黒雲母石英粗面岩中に胚胎. 規模は東西約200 m, 南北約100 m. 予想鉱量10万トン. 陶石試料の肉眼及び鏡下観察・化学分析値及び焼成試験結

果が記されている。(和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2043

菊池 徹 (1950)

愛媛県大久喜銅鉱床概査報告. 49 p., 5 fig., 3 tab.

内容紹介

調査は1948年5月下旬。位置は愛媛県喜多郡五十崎町・天神村・菅田村・新谷村，内子線五十崎駅の南方約3 km。輝緑岩ないし輝緑凝灰岩中の含銅硫化鉄鉱床。規模は走向延長10-160 m，傾斜延長3-30 m，厚さ0.3-2.0 mのものが20箇所以上見つかっている。鉱石品位約6% Cu。太平洋戦争中に月産1,500トンを生産。要旨は地調月報 vol. 1, no. 5, p. 324に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2044

四国地方商工局鉱山部 (1946)

大久喜調査報告文. 43 p.

内容紹介

大久喜鉱山の位置・鉱区面積・交通・地質・鉱床・鉱石品位・埋蔵鉱量・労務などに関して記述されている。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2045

石橋正夫 (1950)

北海道伊達鉱山調査報告. 25 p., 5 fig.

内容紹介

調査は1947年11月3日から2週間。位置は北海道有珠郡伊達町字気門別。新第三紀訓縫層の石英安山岩・同角礫凝灰岩及び凝灰岩中に胚胎。金・銅・鉛・亜鉛及び硫化鉄鉱石から成る。各種鉱石の記載及びAu, Ag, Cuの化学分析値がある。要旨は地調月報 vol. 1, no. 5, p. 324に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2046

猪木幸男 (1950)

北海道白老鉱山の硫黄及び鉄鉱床調査報告. 15 p., 3 fig.

内容紹介

調査は1948年7月6日～25日。位置は北海道白老郡白老村，室蘭本線白老駅の北方約20 kmにある。鉱床は新第三紀黒松内層の複輝石安山岩中に胚胎。規模は延長100 m，幅平均20 m。平均品位36% S, 13% FeS₂, 43% Total S。予想鉱量7万6千トン。要旨は地調月報 vol. 1, no. 5, p. 324に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2047

福井三郎 (1951)

岐阜県可児郡試登4723号鉱区マンガン鉱床調査報告. 9 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1948年5月10日～17日。位置は岐阜県可児郡錦津村字錦織，名古屋鉄道八百津駅の南東約3 km。鉱床は古生層中のチャート中に胚胎。鉱石は硬マンガン鉱・軟マンガン鉱を主とし，少量の菱マンガン鉱を伴う。品位35-50% MnO₂。鉱量数十トン以下。要旨は地調月報 vol. 2, no. 1, p. 59に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2048

浜野一彦(1950)

山口県福重銅鉱床調査報告. 36 p., 8 fig.

内容紹介

調査は1948年2月~4月. 位置は山口県美祢郡於福村から大嶺町にまたがり, 美祢線於福駅の南南東2 km. 結晶質石灰岩に伴う接触交代鉱床. 規模は磁鉄鉱を主とする部分の厚さ平均100 m, これに伴う銅鉱の二次富化帯の厚さは平均0.37 m. この銅鉱が採掘された. 品位平均3.0% Cu. 要旨は地調月報 vol. 1, no. 5, p. 322 に掲載. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2049

浜野一彦・矢崎清貫(1951)

中竜鉛亜鉛鉱山調査報告. 48 p., 5 fig.

内容紹介

調査は1948年7月及び11月に延べ40日間. 位置は福井県大野郡下穴馬村, 京福電鉄大野三番駅から九頭竜川に沿って南東方向34 kmにある. 古生層の石灰岩中のスカルン鉱床. 鉱石は主として方鉛鉱・閃亜鉛鉱. 鉱床を切る人形断層の記述に力点が置かれている. 近くの南仙翁鉱床の記載もある. 要旨は地調月報 vol. 2, no. 1, p. 58-59 に掲載. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2050

田久保実太郎・鶴飼保郎(1948)

中竜鉛亜鉛鉱山調査報告書. 32 p.

内容紹介

調査は1948年7月10日から30日. 位置は福井県大野郡下穴馬村, 京福電鉄大野三番駅から九頭竜川に沿って南東方向34 km. 古生層の石灰岩中のスカルン鉱床. 鉱石は主として方鉛鉱・閃亜鉛鉱. 鉱床と母岩の関係, 鉱物の晶出順序などが論じられている. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2051

林昇一郎(1950)

山梨県試掘第1,820号鉱区受託調査. 12 p., 2 fig.

内容紹介

調査は1949年7月8日~15日. 位置は山梨県西八代郡久那土村, 身延線久那土駅の東方4 km. 西八代層群の切房木凝灰岩層にある玄武岩・安山岩が風化して生じた赤鉄鉱鉱床. 品位6-9% Fe. (和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2052

浜地忠男・岡田健次・原田種成(1949)

大分県玖珠郡野上村珪藻土調査報告. 8 p., 1 fig.

内容紹介

珪藻土は第四紀の湖成層堆積物として大分県玖珠郡野上村一帯に分布する. 最寄り駅は久大本線豊後中村. 珪藻土の層厚は50-120 m. 化学分析値がある. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2053

浜地忠男(1950)

熊本県葦北郡佐敷町九州石灰工業株式会社苦灰岩調査報告. 10 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1948年8月20日～24日。位置は熊本県葦北郡大字鶴木山，鹿児島本線佐敷駅の北西にある。二畳紀-石炭紀の石灰岩を交代生成した苦灰岩。品位17% MgO以上の鉱石の鉱量2万1千トン。要旨は地調月報 vol. 1, no. 5, p. 323 に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2054

和田利雄 (1948)

熊本県球磨郡一勝地村江上鉱業所ハロイ石鉱床概査報告. 15 p.

内容紹介

調査は1947年10月18日。位置は熊本県球磨郡一勝地村字中津，肥薩線一勝地駅の南方約3 km。鉱床は輝石安山岩の割れ目を充填したハロイサイト脈として産出。規模は延長120 m，高低差約10 m。耐火度SK 34。確定鉱量1千トン，同推定2千トン。焼成試験結果が記されている。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2055

大江二郎 (1951)

愛知県山口付近蛙目粘土調査報告. 30 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1947年9月10日～20日。位置は愛知県愛知郡幡山村大字山口，瀬戸市の南約4 km。蛙目粘土は上部鮮新世累層中に胚胎。厚さは2-6 m。推定鉱量1万1千トン。化学分析値がある。要旨は地調月報 vol. 2, no. 1, p. 24-25 に掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2056

大江二郎 (1951)

愛知県大畑・八草付近木節粘土調査報告. 51 p., 2 fig.

内容紹介

調査は1947年11月5日～12月25日。位置は愛知県西加茂郡保見村大字大畑及び八草，瀬戸市の南約7 km。第三紀の含粘土珪砂層中に胚胎。厚さは5-6 m。報文の概要は地調月報 vol. 2, no. 2, p. 90-95 に掲載。沿革・化学分析値・耐火度試験結果などが記されている。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2057

大江二郎 (1951)

三重県島ヶ原付近木節粘土及び蛙目粘土調査報告. 62 p., 8 fig.

内容紹介

調査は1949年2月7日～20日。鉱床は伊賀上野の西方から南西方の一带。概要は地調月報 vol. 2, nos. 4-5, p. 239-244 掲載。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2058

堀越義一 (19XX)

静岡県久根銅鉱山資料. 3 fig.

内容紹介

鉱床は浜松市の北方直距約45 km。地質図・坑内図を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2059

堀越義一 (19XX)

愛媛県西之川銅山資料. 5 fig.

内容紹介

位置は愛媛県新居郡大保木村大字西の川山. 鉱床は銅鉱石を産出する. 地形図・坑内図などを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2060

堀越義一(19XX)

徳島県三好銅鉱山資料. 2 fig.

内容紹介

銅鉱石を産出する. 1937年7月当時の坑内図などを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2061

堀越義一(19XX)

愛媛県大峯銅山資料. 3 fig.

内容紹介

位置は愛媛県西宇和郡川上石町. 鉱床は銅鉱石を産出. 地形図・鉱床図・坑内図などを収録. 坑内図には鉱石の産状などのメモ書きがある.

地質調査所研究資料集 No. 2062

科野房三(1950)

秋田県小坂銅鉱山鉱床資料. 5 fig., 10 photos.

内容紹介

位置は秋田県鹿角郡小坂町. 本文は地調月報 vol. 1, no. 3, p. 125-130 に掲載. 鉱床位置図・鉱床地質図・柱状図・坑内図・鉱山の写真などを収録.

地質調査所研究資料集 No. 2063

科野房三(19XX)

福島県大宮銅鉱山概査報告. 12 p., 6 fig.

内容紹介

位置は福島県南会津郡大宮村山口, 会津線田島駅の西方 32 km. 鉱床は緑色凝灰岩に胚胎される黒鉱式塊状鉱床. 黒鉱・黄鉱・珪鉱が複雑に混合して産出. 規模は水平方向 20-30 m, 傾斜方向 30-40 m. 銅鉱及び硫化鉄鉱が稼行された. 品位 0.8-1% Cu. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2064

伊藤昌介(1950)

長崎県対州銅山鉛亜鉛鉱床調査報告. 29 p., 11 fig., 2 tab.

内容紹介

位置は長崎県下県郡佐須村樫根・椎根及び下原にまたがる. 粘板岩中の交代鉱床. 規模は延長 2,500 m, 深さ 150 m 以上. 鉱石は磁硫鉄鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱を主とし黄鉄鉱・黄銅鉱を伴う. 品位約 4% Pb, 9.5% Zn. 確推定鉱量 4万4千トン, 同予想 4万トン. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2065

東邦亜鉛対州銅業所(1947)

対州鉛亜鉛銅山について. 12 p., 1 fig.

内容紹介

位置・地形・地質及び鉱床の概略に続き、鉱山の沿革が詳述されている。(謄写印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2066

佐藤 恭 (1950)

茨城県久慈鉱山調査報告. 12 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1949年7月1日から約10日間。位置は茨城県久慈郡河内村町屋，水郡線常陸太田駅の北方2 km。鉱床は古生代赤沢統の片岩及び角閃岩中の黄鉄鉱石英粘土脈で，金銀銅鉱の富鉱部を伴う。品位10 g/ton, 数% Cu. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2067

佐藤源郎・常世俊晴 (1947)

北海道天塩国新下川鉱山調査報告. 30 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1947年7月22日～23日。位置は北海道上川郡下川村ペンケ，名寄線下川駅から10 km。鉱床は古生代日高系粘板岩と輝緑岩との接触部に胚胎される含コバルト銅硫化鉄鉱床。規模は延長約200 m, 深さ100 m, 幅平均4 m. 平均品位2.43% Cu, 28% S. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2068

村岡 誠・種村光郎 (1951)

岩手県久慈粘土資料. 3 fig.

内容紹介

調査は1949年5月17日から20日間。位置は岩手県九戸郡久慈町，八戸線陸中夏井駅付近一帯。報文は地調月報 vol. 2, nos. 4-5, p. 232-236 に掲載。地質図，粘土に関係した三金炭鉱及び岩静炭鉱の図面を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2069

林 昇一郎・物部長進 (1949)

新潟県三協鉱山調査報告. 32 p., 7 fig.

内容紹介

調査は1949年8月12日～9月9日。位置は新潟県中蒲原郡村松町の南南東約15 km。接触交代鉱床で，古生層の輝緑凝灰岩中に胚胎。鉱体はレンズ状。規模は30 m×20 m×20 m (深さ)。鉱石は主として鱗片状の雲母赤鉄鉱で磁鉄鉱を伴う。品位約50% Fe. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2070

吉田善亮 (1950)

栃木県越路硫化鉄鉱床調査報告. 16 p., 3 fig.

内容紹介

調査は1949年10月14日～18日。位置は栃木県塩谷郡三依村大字横川字中三依，新第三紀中新世に貫入した斜長石英粗面岩に伴う網状及び塊状の黒鉄式鉱床。規模は走向延長35 m, 深さ20 m。鉱石は黄鉄鉱。品位約42% S. 可採鉱量約6万トン。(和文タイプ印刷)

地質調査所研究資料集 No. 2071

林 昇一郎 (1950)

福島県相馬郡飯曾村・石神村高ノ倉鉱山調査報告. 48 p.

内容紹介

調査は1949年5月下旬~1950年5月上旬。位置は福島県相馬郡飯曾村・石神村地内、常磐線原町駅の西方直距12 km。古生層中の石灰岩に伴うスカルン鉱床。規模は水平延長10-20 m, 同垂直50-70 m, 幅1-3 m。鉱石は主として磁鉄鉱・磁硫鉄鉱・黄銅鉱。品位平均50% Fe, 0.6% Cu, 0.37% S。推定鉱量2万トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2072

高橋 諒(1948)

第一神威金鉱調査報告書。12 p., 2 fig.

内容紹介

調査は1948年10月29日~30日。位置は北海道広尾郡大樹村大字大樹、日方川上流のヤオロマップ川流域の洪積世扇状地堆積物の砂礫層中の砂金。坪当たり平均3匁。札幌商工局の「第一神威金鉱に関する件」の意見書も収録。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2073

伊藤昌介・服部富男(19XX)

埼玉県秩父鉱山資料。16 fig.

内容紹介

調査は1949年10月13日~17日。坑道図・坑内地質図・品位分布図など多数を収録。

地質調査所研究資料集 No. 2074

佐藤 恭(1949)

島根県笹ヶ谷鉱山砒鉄調査報告。12 p., 4 fig.

内容紹介

調査は1948年3月下旬から約10日間。位置は島根県鹿足郡畑迫村、山口線津和野駅の北西15 km。石灰岩中の砒鉄鉱床。規模は東西700 m, 南北250 m, 深さ約350 m。鉱石は銅砒及び砒鉄。品位3.5% As。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2075

著者不詳(19XX)

砒鉄資料。24 p.

内容紹介

1946年当時までの我が国の砒鉄の鉱床・品位・生産量などについて総括してある。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2076

佐藤 恭(1947)

宮城県松岩鉱山及び徳仙丈鉱山砒鉄調査報告。17 p., 5 fig.

内容紹介

調査は1947年6月上旬の10日間。松岩鉱山の位置は宮城県本吉郡松岩村大字赤沼前田、気仙沼から直距4.5 km。鉱床は硫砒鉄砒磁硫鉄砒石英脈で黄銅砒を伴う。規模は延長350 m, 幅最大1 m, 平均0.2 m。品位2-3% As。予想鉱量5千トン。
徳仙丈鉱山の位置は宮城県本吉郡津谷町大字上河内字僧坊堂。鉱床は松岩鉱山と同様だが小規模。品位2% Cu, 5% As。予想鉱量2,200トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2077

佐藤 恭 (1948)

宮崎県松尾鉾山砒鉍調査報告. 12 p., 2 fig.

内容紹介

調査は1948年3月下旬の約1週間。位置は宮崎県児揚郡東米良村、日豊本線富高駅の西方直距約55 km。鉍床は粘板岩及び花崗岩を貫く含金銀砒鉄鉍石英脈。規模は延長350 m、深さ180 m、幅20-30 cm。品位15% As。確定鉍量1万トン、同推定5,100トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2078

斎藤正雄 (1949)

札幌郡定山溪の砒鉍調査報告. 13 p., 1 fig.

内容紹介

調査は1948年7月下旬の3日間。位置は北海道札幌郡豊平町字定山溪。鉍床は新第三紀黒松内期以降と思われる両輝石安山岩中の鉍脈として産出。走向延長3 m、幅10-25 cm。鉍石は主として雄黄及び鶏冠石で白鉄鉍・黄鉄鉍・輝安鉍を伴う。推定鉍量鉍石30トン(24% As)及び約350トン(8-10%, As)。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2079

佐藤 恭 (1949)

北海道手稲鉍山資料. 21 p., 4 fig., 1 tab.

内容紹介

調査は1949年3月10日から10日間。鉍床は新第三紀の割れ目充填浅熱水鉍床。規模は走向延長1 km、幅2-3 m最大10 m。鉍石は主として自然金・自然銀・テルル金銀鉍・黝銅鉍。1935年~47年の出鉍量及び金・銀・銅品位の記録がある。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2080

佐藤 恭 (19XX)

岐阜県丸山鉍山資料. 10 p., 5 fig.

内容紹介

位置は岐阜県吉城郡河合村。鉍床は片麻岩中の含金石英脈で、磁硫鉄鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍を伴う。規模は走向延長100-151 m、幅90 cm以下。品位20 g/ton。予想鉍量数千トン。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2081

著者不詳 (19XX)

岐阜天生鉍山資料. 8 p., 3 fig.

内容紹介

位置は5万分の1地形図「飛騨古川」の西北部。鉍床は含金石英脈で、磁硫鉄鉍・閃亜鉛鉍・方鉛鉍を伴う。規模は150 m以下、幅20-40 cm。品位平均10-15 g/ton Au, 15-30 g/ton Ag。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2082

河野義禮 (19XX)

青森県大盛鉍山資料. 4 p., 5 fig.

内容紹介

位置は青森県南津軽郡大鰐町および中津軽郡下年村, 弘前市の南方約 10 km. 鉱床の規模は延長数 m ないし十数 m. 鉱石は閃亜鉛鉱・方鉛鉱・黄鉄鉱・黄銅鉱が産出. 20 万分の 1 「弘前」図幅地域内の鉱床分布図も収録. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2083

河野義禮 (1942)

岩手県長者森鉱山資料. 56 p., 1 fig.

内容紹介

調査は 1942 年. 位置は岩手県下閉伊郡小国村大字小国第 1 地割字新田. 鉱床は花崗岩の貫入によって生じた緑色片岩及び白色片岩様の岩石の片理に沿った含ニッケル磁硫鉄鉱鉱染. 金・銀も産出. 品位約 0.26% Ni. (手書き・和文タイプ)

地質調査所研究資料集 No. 2084

河野義禮 (1943)

青森県湯ノ沢鉱山資料. 4 p., 2 fig.

内容紹介

調査は 1943 年. 位置は青森県南津軽郡碓ヶ関村大字碓ヶ関字湯ノ沢. 鉱床は第三紀緑色凝灰岩中の鉱染として産出. 規模は東西 106 m, 南北 110 m, 深さ約 20 m. 鉱石は主として繊維亜鉛鉱・方鉛鉱. 鉱量 40 万トン. 品位 7%, Pb: Zn=45: 55. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2085

河野義禮 (1943)

青森県居土鉱山資料. 9 p., 2 fig.

内容紹介

調査は 1943 年. 位置は青森県南津軽郡大鰐町大字居土三ツ目内. 鉱床は古生層の石墨質粘板岩及びホルンフェルスに胚胎される黄銅鉱・黄鉄鉱・閃亜鉛鉱・方鉛鉱・斑銅鉱の浅熱水鉱脈. 幅 0.3-0.6 m. 品位平均 8% Cu. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2086

河野義禮 (1943)

秋田県新不老鉱山硫化鉄鉱資料. 4 p., 3 fig.

内容紹介

調査は 1943 年. 位置は秋田県鹿角郡大湯町大字大湯. 鉱床は安山岩質岩の割れ目に胚胎. 規模は延長 242 m, 高距 34 m, 幅平均 0.5 m. 鉱石は主として硫化鉄鉱. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2087

河野義禮 (1943)

秋田県四角鉱山資料. 2 p., 2 fig.

内容紹介

調査は 1943 年に行われた. 位置は秋田県鹿角郡柴平村. 鉱床は第三紀凝灰岩及び頁岩に貫入する安山岩及び流紋岩中の鉱脈. (手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2088

河野義禮 (1943)

岩手県仲沢鉱山資料. 2 p.

内容紹介

調査は1943年。位置は岩手県二戸郡田山村字切通し。鉱床は緑色凝灰岩及び珪質頁岩中の鉱脈。幅0.15m。鉱石は斑銅鉱・黄銅鉱。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2089

河野義禮(1943)

秋田県不老倉鉱山資料。19p., 1fig.

内容紹介

調査は1943年。位置は秋田県鹿角郡大湯町字不老倉。鉱床は第三紀凝灰岩及び頁岩を貫く石英粗面岩・火山角礫岩・塩基性火山岩・変質安山岩の割れ目を充填して産出。規模は延長1500m, 幅平均0.5m。鉱石は黄鉄鉱・黄銅鉱・方鉛鉱・閃亜鉛鉱・赤鉄鉱・褐鉄鉱。(手書き)

地質調査所研究資料集 No. 2090

伊藤昌介(1942)

富山県進日本鉱山資料。32p.

内容紹介

調査は1942年。位置は富山県上新川郡大山村地内。鉱床は古生層粘板岩中の石英脈中に胚胎銀・銅・鉛・亜鉛・モリブデン・硫化鉄が産出。(和文タイプ)